

ここから始まる 仲間の和、地域の輪



# いずみ

第227号〔令和5年1月5日〕

コミュニティ情報

<https://fukuizu.org>

ホームページが新しくなりました



発行／永福和泉地域区民センター協議会  
☎ 03-5300-9412

## 迎春



## 新年のご挨拶

永福和泉地域区民センター協議会 会長 山本 松江



地域の皆様方におかれましては、健やかに良い年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年は with コロナの中ではありましたが、感染対策に様々な工夫を凝らし「方南まつり」「下高まつり」を皆様に喜んでいただけるイベントとして開催することができました。

センター協議会は町会・商店会・小中学校 PTA など地域団体等からの推薦の方や公募の方で構成されており、当協議会は“仲間の和・地域の輪”の固い繋がりにより「地域の皆様が自らの手で住みやすいよいまちをつくる」をモットーとして皆様とともに歩んでまいります。

今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年も皆様にとりまして希望の年でありますよう祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

### 【新型コロナウイルス感染対策のお願い・注意事項】

◆各種事業にご参加・ご来館の際は必ずマスク着用・手指アルコール消毒をお願いいたします。◆発熱のある方、体調不良の方はご参加・ご来館をお控えください。◆マスク非着用の場合は入室をお断りし、入室されている場合はご退出いただきます。◆今後も感染状況・天候によっては、内容・人数変更や開催中止となることをご了承ください。

## ◎PTA懇談会開催報告◎

令和4年11月2日(水)、管内の小中学校8校からPTA役員12名の皆様にお集まりいただき、2年ぶりにPTA懇談会を開催しました。

当協議会活動の説明に続き、PTAの皆様からコロナ禍での活動のご苦労や工夫を紹介いただきました。協議会とPTAとの連携や相互発展に関する意見交換も行き、大変貴重なご意見を多数いただきました。

来年度の委員推薦の願いも含め、今後も地域交流におけるネットワークづくりの活動を、多くの皆様に知っていただけるよう努めてまいりたいと思います。



## 地域懇談会開催報告

当センター協議会主催による「地域懇談会」を数年ぶりに開催いたしました。

町会・自治会や学校など地域団体から30名の方にご参加いただき、協議会委員等と合わせて54名が6つのテーブルに分かれて着席しました。

前半は、「知ってなっとく法改正～よく分かる相続のこと」と題して、東京司法書士会杉並支部の司法書士 大石安延氏に令和6年4月1日からの民法改正による相続登記の義務化を中心に、事例を交えて分かりやすく相続の要点をお話しいただきました。後半は各地域団体からご出席いただいた皆さまのご紹介後、テーブルごとに情報交換などの懇談を行い、地域における絆づくりに向けて有意義な時間となりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



わが・まち・あるき



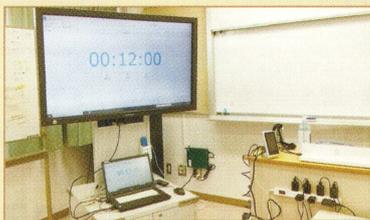
## ～東京都立中央ろう学校(前編)～

### \* Challenge・Creation・Courage 3つのCを象る校章を胸に

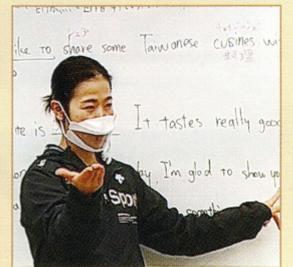
永福通りに架かる永福橋から程近い都立中央ろう学校は、生徒らの早期開校の要望に応え、平成18年に他校校舎で開校、平成21年に杉並ろう学校跡地の新校舎に移り、創立17年目を迎えます。今年度1～6年生112名が在籍、進学に対応できる学力と調和のとれた人間性で社会貢献できる生徒育成を目指す聴覚障害特別支援学校です。



### \* 情報保障された授業と聴能支援



二学期制(4月～9月・10月～3月)での授業時間の確保、三学期制の夏休み等はそのままに両方のメリットを生かすカリキュラムのもと、1～4年生は学力テスト等に、5・6年生は進路に応じたコースで学びます。昨年度学校評価アンケート「興味・関心もてる授業の工夫有り90%」の高評価は、大型ディスプレイの電子黒板・タブレット端末・デジタル補聴援助システム(Roger)で先生の首掛けマイクから安定した音質でスピーカー・補聴器・人工内耳へ送信、一部授業では板書や文字カードの提示も含めて「見える授業」として多様なコミュニケーション手段による授業を行います。口話、手話のディスカッションが活発で、殆どの先生は赴任後に生徒とのコミュニケーションを通じて数ヵ月ほどで手話を覚えて授業に活用します。



### \* 部活動とデフリンピック

全国聾学校作文コンクール金賞銀賞を受賞歴がある他、全生徒が参加する部活動も活発です。手話パフォーマンス甲子園に出場する生活文化部は手話歌やゲームを作成、関東聾学校大会での高等部は陸上競技1部男子総合優勝、バレーボール二連覇中等部は野球・バレーボール優勝、卓球は女子団体優勝など優秀な成績をおさめています。今年5月にブラジル開催のデフリンピックには、大会初採用「スタートランプ(スタートを知らせる点灯ランプ)」の運営スタッフとして竹見教諭、卒業生4競技5名参加しました。2025年東京開催での活躍が今から楽しみです。

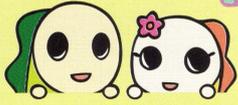


### \* 姫野滋子(ひめの しげこ)副校長から

本校は、大学進学に向けた確かな力を身に付けることを基本理念とした中高一貫型のろう学校です。自分自身の障害を正しく理解し、人に分かりやすく伝えること、人と協力して生きる喜びを身に付け、優しく、強く、しなやかに、そして自分らしく生きていってほしいと願って教育をしています。

地域の皆様に感謝の気持ちをもって学校生活を送るとともに、皆様に、ろう学校を知っていただくことも、大切な責務だと思っております。機会がありましたら、ぜひ、本校を見にいらしてください。

# センターまつり開催案内



日時: 令和5年2月19日(日) 10時~15時



作品展示、ショータイム、模擬店、苗木de募金、杉並産野菜販売、  
ふわふわトランポリン、バルーンアート、天文学習(事前申込制)、浪曲(事前申込制)など

## A:天文学習「星空さんぽみち」

(1)10:30 (2)11:30 (3)13:30 (4)14:30 各回定員40名  
子供のみの入室(親の同席はできません)

## B:杉並区区制施行90周年記念事業

「内田秀五郎一代記」玉川太福 浪曲公演  
10:30~11:10 定員50名



【申込方法】往復はがきに①「センターまつり天文学習希望」または「センターまつり記念事業(浪曲)希望」②住所 ③氏名(ふりがな)  
④電話番号 ⑤年齢(天文学習のみ) ⑥参加希望時間(天文学習のみ)[(1)10:30 (2)11:30 (3)13:30 (4)14:30]を明記し、  
返信用に住所・氏名を記入の上、締切日(必着)までにお申込みください。はがきは一人1枚に限ります。申込み多数の場合は  
抽選となります。

【申込締切】1月30日(月) 必着

**当日直接会場へお越しください。入館の整理券を配布します。  
ただし、A、Bのイベントは事前申込制です。**

【問合せ・申込先】〒168-0063 杉並区和泉3-8-18 永福和泉地域区民センター協議会 電話03-5300-9412  
受付時間9時~17時 土日祝日を除く

※申込みは事務局窓口でも受付しております。その際は、普通はがき(63円)をお持ちください。

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、まつりが中止または内容が変更となる場合がございます。

協働  
事業

## 笑って学ぼう **サギ撃退** ~大切な人を守るために~

サギ防止の落語と寸劇・高井戸警察署の講話で、安全・安心な暮らしを学びましょう。

令和5年3月4日(土) 13時~15時 開場12時30分

**会場** 永福和泉地域区民センター 2階 1・2・3・集会室

**定員** 60名

**費用** 無料

出演:三遊亭吉馬 杉並区消費生活サポーターグループ・スリーSほか

申込みは2月10日(金) 必着。往復はがき(4ページ申込み方法参照)または協議会ホームページから

【主催】永福和泉地域区民センター協議会

【協働】警視庁高井戸警察署

【協力】杉並区消費者センター ※長寿応援対象事業



あたま  
**頭**  
の  
からだ  
**体操**

各番号のところに縦に答えを入れてください。

- ①シェークスピアの4大悲劇の一つ またはボードゲーム。
  - ②木材・竹などを並べて結び合わせ、水に浮かべる物。
  - ③スポーツ大会の試合組み合わせの決定などに用いるもの。
  - ④顔つき。「花の~」。
  - ⑤調味料。
  - ⑥樹木を切って乾燥させ、燃料として用いるもの。
- 緑色の枠内の文字をつなげて。

①	お	②	く	③	か	④	た	答えはこのまのまに……
	か				ば	お		
					せ			

### 【協議会って?】

永福和泉地域区民センター協議会の活動を地域の皆様にもっと知っていただくために当センター2階和風ロビーで、協議会紹介パネル展を開催しております。この機会にぜひお立ち寄りください。

\*令和5年3月31日まで展示中\*

休館日カレンダー 永福和泉地域区民センター 方南地区民集会所 下高井戸地区民集会所 方南会館

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
令和4年12月28日~令和5年1月4日 全館休館日						
8	9	10	11 永	12	13	14
15 永	16	17	18 方 下	19	20	21
22	23	24	25 会 永	26	27	28
29	30	31				

2月						
日	月	火	水	木	金	土
			1 方	2	3	4
5	6	7	8 永	9	10	11
12	13	14	15 永 方 下	16	17	18
19	20	21	22 永	23	24	25
26	27 会	28				

## 申込方法

往復はがきに希望講座名・住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話番号・「いずみ」と明記し、返信用に住所・氏名を記入の上、各締切日（必着）までにお申込み下さい。はがきは1人1枚に限ります。また、当協議会ホームページからもお申込みできます。申込み多数の場合は抽選となります。

問合せ・宛先 永福和泉地域区民センター協議会  
〒168-0063 杉並区和泉 3-8-18 ☎ 03-5300-9412

往信(表面) 63円 1680063 往信 杉並区和泉3-8-18 永福和泉地域区民センター協議会行	返信(裏面) 何も記入しないでください	返信(表面) 63円 返信 ご自分の住所 ご自分のお名前	往信(裏面) ①講座名 ②住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 いずみ
--	------------------------	--	---

講座の申込みは、事務局でも受付をしております。その際は、普通はがき（63円）をお持ちください。

## ◆永福和泉地域区民センター ※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、スケジュールが流動的になります。

講座	内容	講師名	定員	開催日時	費用	締切日
これだけは知っておこう！相続と遺言のお話	相続と遺言の基本的な知識について事例を挙げながら、街の法律家「行政書士」がわかりやすく解説します。終了後は無料の相談会も予定しておりますので是非ご興味のある方はご参加ください。	行政書士 本郷 辰博 (ほんごう たつひろ)	40名 長	令和5年 2月9日(木) 13時～15時	無料	令和5年 1月30日 (月) 必着
永福・和泉周辺を古地図に学ぶ	90年前まで「和田堀町」といった永福和泉地域。村名論争、地名の返還、環状七号線や甲州街道の開通・拡張、井の頭・京王線の開業など、街の発展を「古地図」で辿りながら振り返ります。	中村 建治 (なかむら けんじ)	40名 長	令和5年 2月13日(月) 13時～15時	無料	令和5年 2月1日 (水) 必着

※講座はどなたでも参加できます。(参加対象者のある講座を除く。小学生以下の参加可能講座は保護者同伴)

●詳細は <https://fukuizu.org> をご確認ください。※長：75歳以上の方は長寿応援ポイントの対象となります。(一部を除く)

## 文化講座へようこそ

### 快適な暮らしのための整理収納術 令和4年10月25日(火)当センター

ご参加いただいた皆様から、講座の内容が分かりやすく、すぐに実践したいというご感想を多くいただきました。

「モノが増える訳・減らすコツ」から「整理・整頓・収納」の違いや整理の基礎知識について、熱心なご指導をいただくと、初めて聞いた方や既に知識をお持ちの方からも、改めて整理・整頓をしてみよう、意識してみよう、というお声がありました。

生前整理もどなたにも関係する大切なことなので、楽しく整理・収納を学び、より良い生活空間で快適に暮らすことを目標とし、教えていただいたことを実践したいという気持ちになる講座でした。

講師の小宮真理先生、ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

また、講座後のアンケートの回答をたくさんいただき、皆様のご協力に感謝いたしますとともに、次回の参考にさせていただきたいと思っております。



## 藍のおはなし ～藍の一年～ 種蒔きから染色、種採取まで

藍の葉での染色方法は2種類あります。

いずみ 225号ではそのうちのひとつである「生葉染め」をご紹介しました。226号ではもうひとつの「建て染め」に挑戦すべく、沈殿藍の作成をしたことをお知らせしました。そして今回の227号ではその顛末を掲載させていただきます。

①藍の葉を刈り、水洗いしてバケツに入れる。  
ひたひたの水を加え8月の2昼夜ほどさらして、発酵させる。



②発酵を終えた藍の葉。いくら水の色が青み掛かっているが、水の色はまだ透明。  
発酵臭は結構きつかった。



③藍の葉を取り去り、消石灰の上澄みを加えて攪拌した。  
インディゴができたと思われた。  
あとは沈殿を待たせ...と思われたのだが、なかなか沈殿しなかった。(攪拌にはバスポンプを使用)



④液体の中にはインディゴがあることは確かなので、試しにこの液で染色をしてみた。  
綿布も藍色とはいかないまでも、濃いめの浅藍色に染めることができた。  
(生葉染めだと綿布はほとんど染まらなかった)

建て染めに初めて挑戦した。思惑通りにはいかず、成功はしなかったが、染め液で木綿に色がついたのがせめてもの慰めだった。

先人たちの長い思考錯誤とあきらめない気持ちのおかげで確立した藍染めが今日でも使われていることに感謝し、来年また沈殿藍づくりに挑戦すべく計画している。



双葉



幼苗



染色に利用



花→種を採取

※いずみ 225号、226号、227号はホームページからもご覧になれます。  
表紙のQRコード、あるいはURL <https://fukuizu.org> で閲覧できます。  
ホームページ上部の広報誌ボタンをクリックしてください。